



連携いっわい

令和2年3月

第26号

岩手県立磐井病院

『一関市医介連主催研修会』を開催しました

当院は『一関市医療と介護の連携連絡会（通称：医介連）』に参加しており、一関市との共催で一般市民や医療・介護関係者向けの医療講演会（研修会）を毎年行っています。

今年度は『尿もれ・頻尿などについて ～漏れにも負けず～』をテーマとして、10月19日(土)に一関保健センターを会場に開催し、3題の講演を行いました。

市内西城病院：泌尿器科の佐藤文夫先生からは「頻尿・尿失禁の診療」と題して、排尿の基本知識や泌尿器疾患の原因・予防・治療などについて、大変分かりやすくユーモアを交えた内容でご講演いただきました。

また、当院からは千葉良子皮膚・排泄ケア認定看護師が「尿失禁ケア用具の活用方法」として、市販製品の選び方・使い方、関連した皮膚トラブル予防について説明し、稲見雅浩リハビリテーション技師長からは尿失禁予防のための「骨盤底筋体操」を紹介しました。

併せて当日は、会場受付横に実際の衛生・介護用品（おむつ・シーツなど）の紹介展示も行い、介護関係者や自宅でご家族を介護されている方々に大変好評でした。

身近なテーマから今回は特に女性の参加者が多く、一般・医療介護関係者を併せて100名を超える参加がありました。今後も皆様のニーズに沿った内容で開催したいと思いますので、ご意見・ご要望がありましたらお寄せください。



<岩手県立磐井病院 理念>

地域の皆様に納得のできる医療を提供します

<岩手県立磐井病院 行動指針>

- ① 患者さんの希望や背景を尊重します。
- ② 患者さんの個人情報を守ります。
- ③ 患者さんの安全に配慮し診療に全力を尽くします。
- ④ 地域における医療・介護・福祉の連携に貢献します。

Contents

- 一関四医介連主催研修会・・・1
- DMAT 報告・・・2
- 県南地区地域連携担当者会議・・・3
- 診療情報管理室のご紹介・・・3
- 各医療機関・施設への「連携施設訪問」にご協力願います・・・4
- 新型コロナウイルスによる行事等の中止について・・・4

DMAT 活動報告

救急科長 片山 貴晶

DMAT（災害医療支援チーム）は、先の阪神大震災で避けられた災害死が多く存在したことから、一人でも多くの命を助ける目的で設立されました。機動性、専門性を生かした多岐にわたる医療的支援を行っています。当院のDMATは2006年に発足しました。

今回我々は、10月に発生した台風19号による大雨で被災した宮城県において、被災直後の3日間活動したので報告します。

宮城県知事からの要請を受けて、医師2名、看護師2名、業務調整員1名の計5名は大河原町にある仙南保健医療調整本部に参集しました。さらに現場の活動拠点である角田保険医療調整本部に移動しました。医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健師、行政の方々などと共に朝夕2回のミーティングを開き、その日の目標を定め、どのようなアセスメントをするかを決定しました。

我々が活動した角田市の拠点においては、主に公衆衛生活動を行いました。水害では直後から衛生状態の悪化が懸念されます。1・2日目は避難所、診療所や施設の確認と医療ニーズ、また薬剤のニーズについて調査しました。実際に我々は特別養護老人ホームや市民センターで医療ニーズについて調査をしました。3日目は避難所の閉鎖へ向けてのプラン作成、衛生環境やDVT（深部静脈血栓症）の調査、必要な段ボールベッドやエアフィルターの設置場所と個数などの決定、そしてDMAT撤収に向けての情報の集約などを行いました。また保健師と共に各家庭を訪問して、衛生状態の確認や指導も併せて行いました。

磐井病院DMATは現場ではなく、本部活動として、他のDMATチームの受け入れ、クロノロジー（情報、出来事、顛末などの継続的な記録）の作成、上位活動拠点本部への連絡、収集した情報の確認、データベースなどの作成を行いました。そしてDMAT撤収後の地域保健活動に役立つような情報を集約して引き継ぎを行いました。以上DMAT活動報告でした。



県南地区地域連携担当者会議

地域医療福祉連携室 長倉 学

一昨年（H29 年度）から、『県南地区入退院支援看護師等連携会議』として一関市内及び奥州市南部の 14 病院間における「顔の見える連携」体制づくりを目的として集合会議を当院で主催させていただいております。例年看護師・MSW・事務員など幅広い職種の皆様に参加されていることから、今年度より名称を『地域連携担当者会議』に変更しました。

今回は「患者紹介時のスムーズな情報共有」に関する議題が上げられ、各病院で行っている方法、困っている現状や要望など意見交換があり、漏れのない提供についてあらためて確認されました。

また、一関市内の病院間での「患者連絡票（いわゆる ADL 確認票）」の様式統一



についても議論が交わされ、作成担当者の業務軽減と誤記載を防ぐ等の観点から、全病院で統一化に向けて検討することとなりました。（現在、各病院の要望を検討して様式案を作成中です）

今後もより良い連携に向け、継続して開催していきたいと考えております。

診療情報管理室のご紹介

「診療情報管理室」は、県立病院で平成 26 年度から正式に作られた新しい部門です。患者さんには直接対応することがほとんどありませんので、初めて聞く方が多いのではないのでしょうか。

磐井病院では、室長、室次長含め 8 名で業務をしています。主な業務内容は、電子カルテに入力されたデータをデータベース化して分析を行い、医療の質の向上や経営の改善を目的に院内外に情報提供しています。

例として「院内がん登録」があります。がんに罹患している患者さんの情報を登録し、毎年国立がんセンターに情報提供しています。このデータは国立がんセンターのホームページから見ることで、様々に利活用されています。また、病院の実績などをホームページ上に公開し、広く情報提供しています。

ぜひ、病院ホームページや国立がんセンターのホームページをご覧ください。



各医療機関・施設への「連携施設訪問」にご協力願います

地域連携室では『顔の見える連携』を目指し、平成28年7月より毎月1回：5～6施設ずつのペースで、患者紹介・逆紹介で連携実績のある医療機関や施設への訪問を行っております。

対象施設は一関市内を中心に、病院、診療所・個人医院、介護支援事業所・支援センター、訪問看護ステーションなど多岐にわたり、これまでの約4年間で延べ200箇所以上の施設を訪問させていただきました。

訪問時には、病院へのご意見・苦情などを実際に関わっている先生方や職員の方から直接お聞きし、それを元に病院業務の改善に努めるとともに、併せて患者紹介・逆紹介の推進依頼や入退院支援等にかかる意見交換も行っております。

患者支援センターの看護師・医療ソーシャルワーカー（MSW）・事務職員等が事前連絡のうえ伺っておりますので、訪問の際には忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



新型コロナウイルスによる行事等の中止について

今般の新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当院で開催している定例会議、行事等が令和2年3月より中止、延期となっておりますので、お知らせいたします。

- (1) 医師会症例検討会（毎月1回、第2火曜日、18：30～）
- (2) 緩和ケアテレビカンファランス（毎月1回、第3月曜日、18：30～）
- (3) 一関在宅緩和ケア支援ネットワーク（IZAK）会議
（毎月1回、第3火曜日、18：30～）
- (4) 地域連携パス検討会（年3回、延期）
- (5) どこでも医療講座（職員による出前講座、3月～5月末まで派遣を中止中）

再開時期が決まりましたら、順次お知らせいたします。
よろしくお願いいたします。



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook：<http://www.facebook.com/iwaihp>